



核兵器禁止条約は、核兵器の非人道性をきびしく告発し、その開発、実験、生産、保有から使用と威嚇にいたるまで全面的に禁

止して違法化し、核兵器に「悪の烙印」を押すとともに、完全廃絶までの枠組みと道筋を明記しています。

人類は、国連総会の第一号決議(1946年1月)が核兵器の撤廃を提起して以来、初めて、画期的な国際条約を手にするになりました。

2021年1月22日、上田駅前の水車前広場で原水爆禁止上小地区協議会と新日本婦人の会上田支部が核兵器禁止条約発効を心から歓迎する集会を開き、核兵器の廃絶を力強くアピールしました。



戦後70年の節目の年に開かれた2015年の原水爆禁止世界大会(広島)に夫婦で参加したことを思い出しました。すでに5年以上立っていますが、この間の歩みは核兵器にしがみつ়勢力を国際世論が着実に包囲していることがわかります。

「還暦を迎える年となり、今年は年初から今までやりたくてもできなかったことをできる限りやろうということを考えてきました。そんな中で、念願かなって40年ぶりに原水爆禁止世界大会に参加できました。この行事への参加によって、2015年が自分にとって記憶に残る意義深い年となりました。」と参加した時の感想です。



1月写真通信



談慶の立川入門30周年記念



【写真の説明】 <左上から下へ> ◇地域の行事「どんと焼き」2つの自治会が共同して実施している。無病息災、家内安全などを祈願した。◇地元の長瀬中央自治会の総会で挨拶する小林自治会長。2年間の任期お疲れ様でした。◇自治会、世話人、PTA 合同で行っている道祖神。天候にも恵まれて、各戸に子どもたちの元気な姿をお届けできました。

<真ん中上から> ◇2021、1、22 核兵器禁止条約発効した。私も、上田駅前水車前広場の集会に前の日に作った手作りプラスターをもって参加。◇八日堂縁日に合わせて開催されている蘇民将来符展に。かなり以前からの蘇民将来符があり歴史を感じました。◇年末年始は、コロナ対応で、二年詣をやめ初詣は空いた時間帯に上長瀬にある地藏尊へ。

<右上から下へ> ◇立川談慶師匠の演目は「ラクダ」は、古典落語で上方落語の演目。時間が長く、ナイツのお二人はテンポがよく笑いの連続でした。(1月23日上田文化会館)◇東御市で開かれた都築誠さんの「持続可能でよりよい未来のために。私たちができること、一緒に考えてみませんか。」「SDGs全国フォーラム」があった。第一線で活躍している研究者、実践者を多数参加され大変勉強になりました。